

地域の先生方のご紹介



藤田小児科医院
藤田 位 先生
 住所：西脇市和布町
 字出嶋 167-31
 TEL：0795-22-8755
 診療科目：小児科



地域医療連携室だより
 2019年2月発行

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30～12:00	●	●	●	●	●	●
午後 4:00～6:30	●	●	●	△	●	△

- ① 診療を開始されてどれくらいになりますか。
平成5年4月に開業しましたので25年になります。
- ② どのような患者さんが来院されますか。
発熱や咳などの病気の子供から、子育てに不安を持つ保護者の方まで幅広い方が来院されます。
- ③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。
25年前に開業した時から、「私たちは地域の子供たちの親になろう、そして保護者の方々の理解者であろう」と心掛けてきました。今もそれは続いています。
- ④ 地域との連携について。
西脇市多可郡医師会に所属する小児科医は、西脇病院との連携なくしてはなり立ちません。地域と病院とが、一体となってこの地の小児医療を守りたいと考えています。



いわたウイメンズクリニック
岩田 一 寿 先生
 住所：西脇市上比延町 432-49
 TEL:0795-23-8888
 診療科目：産婦人科

(※ ○は午前9:00～12:30です。)

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	●	●	●	○	●	○
午後 3:30～6:00	●	●	●	△	●	△

- ① 診療を開始されてどれくらいになりますか。
前医院の『つつのみや産婦人科医院』が開院21年で急遽廃業され、当時副院長であった岩田が同医院を平成29年10月より引き継ぐ事になった。
- ② どのような患者さんが来院されますか。
2人目3人目の妊婦さんが多く、初診の患者さんは口コミ等で来院されます。
- ③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。
周産期領域、不妊症等をスタッフ22名で対応しています。治療方法などを丁寧に御説明し、患者様御自身が自分のライフスタイルに合った方法を選択できるように診療の個別化を目指しています。
- ④ 地域との連携について。
患者様に安心して受診していただけるように、地域、周辺の医療機関との連携を密にしています。

西脇市立西脇病院 Nishiwaki Municipal hospital

地域医療連携室だより

HP：<http://www.nshp.jp/>



皮膚科の紹介

現在、西脇病院の皮膚科は、常勤医 3 名で、神戸大学医学部附属病院皮膚科からの派遣となっています。
 現在は、午前中は、外来診療となっており、月～金曜日まで、3 診体制で、診療を行っています。

【 外来担当医師一覧表 】 平成 31 年 2 月 1 日

診療科	月	火	水	木	金
皮膚科	藤川 義明 藤井 翔太郎 土田 拓実	藤川 義明 藤井 翔太郎 土田 拓実	藤川 義明 藤井 翔太郎 土田 拓実	藤川 義明 藤井 翔太郎 土田 拓実	藤川 義明 藤井 翔太郎 土田 拓実

外来は 4 室あり、そのうちの 1 室は紫外線治療室となっています。
 紫外線治療室では、予約制で、難治性皮膚疾患（アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、円形脱毛症、菌状息肉症等）に対する光線治療を行っています。
 当院には、ナローバンド UVB、エキシマライトという 2 種類の紫外線治療器があります。



ナローバンドUVB



エキシマライト



〒677-0043 西脇市立西脇病院
 兵庫県西脇市下戸田652番地の1
 TEL：0795-22-0111(代表)

地域医療連携室 直通
 TEL：0795-22-8270
 FAX：0795-23-4580

皮膚科の外来での検査としては、色素病変（ほくろ、シミ等）に関して、病変部を拡大し観察する器具があります。

以前、足底部の黒色病変が、ほくろのがんのことが多いといわれていた時期がありましたが、病変部を拡大して見ることにより、皮溝部（皮膚の溝の部分）に位置して、色が濃いと、ほくろの可能性が高く、皮丘部（皮溝部に挟まれたところ）に一致して、色が濃いと、ほくろのがんの可能性が高いといわれています。そのほかの部位でも、色素の濃淡のパターンで、ある程度、良性、悪性が判断できるようになってきています。

当科での外来でも、随時、ダーマトスコープを使用して、検査を行っています。その結果、悪性が疑われる場合は、当院で対応できる症例に関しては、当科で、検査、手術を行っています。当院で、対処できない症例に関しては、専門の病院へ紹介させていただいています。



ダーマライト



ダーマトスコープ

高齢化社会になり、皮膚がんの症例数も増えてきています。当科では、疑いのある症例に関しては、午後に予約で皮膚生検（局所麻酔下に、腫瘍の一部を切除して、採取した組織で、細胞の検査をします）を行っています。皮膚がんと診断された場合は、当科にて、手術できる症例に関しては、入院の上、火曜日の午後に、手術を施行しています。

昨年度の入院手術症例数は基底細胞癌 13 例、有棘細胞癌 12 例、ポアソン病 7 例、メラノーマ（上皮内）1 例、外陰部乳房外パジェット病 1 例でした。

また、良性腫瘍でも、サイズの大きなものに関しては、入院での手術を行っています。

その他、当科の入院で行っている治療は、皮膚感染症（蜂窩織炎、丹毒等）における抗生物質の点滴治療や、高齢者における带状疱疹の入院での、抗ウイルス薬の点滴治療もおこなっています。

また、難治性皮膚潰瘍、褥瘡に対する陰圧閉鎖療法も、入院の上、適時施行しています。

陰圧閉鎖療法とは、創部を密封し、機械で創部に陰圧をかけ、創部からの過剰な浸出液の除去を行い、創部の適切な湿潤環境を保つことにより、創部の治癒を促進し、また、創部に陰圧をかけることにより、創部の収縮、機械的な刺激による細胞増殖の促進を図る治療法です。

〈介護老人保健施設〉とは介護を必要とする高齢者の自立を支援し家庭復帰を目指すために医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士などによるリハビリテーション、また栄養管理、食事・入浴などの日常サービスまで提供する施設です。

当施設では【入所】以外にも、日帰りで利用できる【デイケア】と、30 日以内の利用が可能な【短期入所】があります。ぜひご利用ください。

【入所のご利用に関して】

要介護1～5の方で病状が安定している方が入所可能です。

- ・ 病院での回復期のリハビリから生活リハビリへの移行期にあり、訓練の継続による維持、改善が期待される方
- ・ 自宅にいらっしゃる方で、動きが悪くなるなど日常生活動作が低下しており、在宅生活の継続を目標に身体機能の維持・改善のための集中的なリハビリ、生活習慣の改善などを希望されている方
- ・ 次の施設を探す間の一時的な入所を希望されている方
- ・ 入所の期間は概ね3か月から6か月程度を目安にします。

【デイケアのご利用に関して】

要介護者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要なリハビリテーションを提供して心身の機能の維持回復を図るサービスです。



リハビリでの歩行練習の様子

- ・ 日中家族が家を空けるため一人での生活が心配な方
- ・ 家庭での入浴が困難な方
- ・ 身体機能を維持、回復するためのリハビリが必要な方
- ・ 認知症や加齢により生活に支障をきたしている方
- ・ 外出がおっくうになっている方
- ・ 日中の介護負担を感じている方

【短期入所のご利用に関して】

介護、機能訓練とその他必要な医療と日常生活上の世話を提供するサービスです。

また、介護を受けている人では無く、介護をしている方の負担軽減もあります。

- ・ 冠婚葬祭や旅行などでお世話ができないとき
- ・ 介護疲れのあるとき
- ・ ご家族が入院されるとき・・・など



デイケア利用者様の作品

当施設では月に一度施設全体でレクリエーションを行っています。お花見や敬老会、運動会、クリスマス会などを開催しています。また、行事の際には季節を感じられるお楽しみメニューを提供し、普段と違った雰囲気を楽しんで頂けるよう工夫を凝らしております。